

2012年3月期 決算説明会

2012年4月27日

代表取締役社長 謝敷 宗敬

新日鉄ソリューションズ株式会社

2012年3月期 連結決算ハイライト

(億円)

	2011/3期 (実績) A	2012/3期 (実績) B	対前年 差異 B-A	2012/3期 (前回公表値) C	対公表値 差異 B-C
売上高	1,597	1,616	+19	1,650	-34
業務ソリューション	884	887	+3	910	-23
基盤ソリューション	188	195	+7	215	-20
ビジネスサービス	525	534	+9	525	+9
売上総利益	309	308	-1	322	-14
<売上高総利益率>	<19.3%>	<19.0%>	<-0.3%>	<19.5%>	<-0.5%>
販管費	198	200	+2	200	-
営業利益	111	108	-3	122	-14
経常利益	114	111	-3	125	-14
当期純利益	64	52	※ -12	60	-8

※税制改正に伴う繰延税金資産の取崩し-9億円を含む。

2012年3月期 サービス・顧客業種別の売上高・受注高

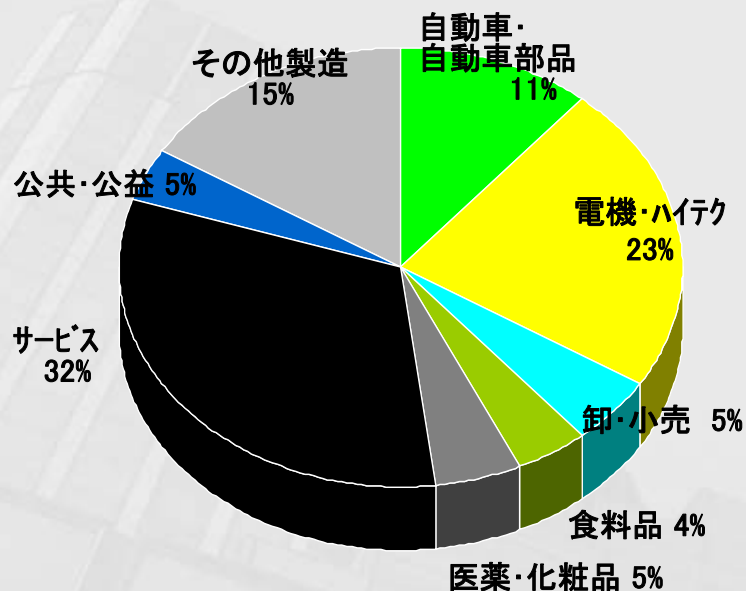


NS Solutions

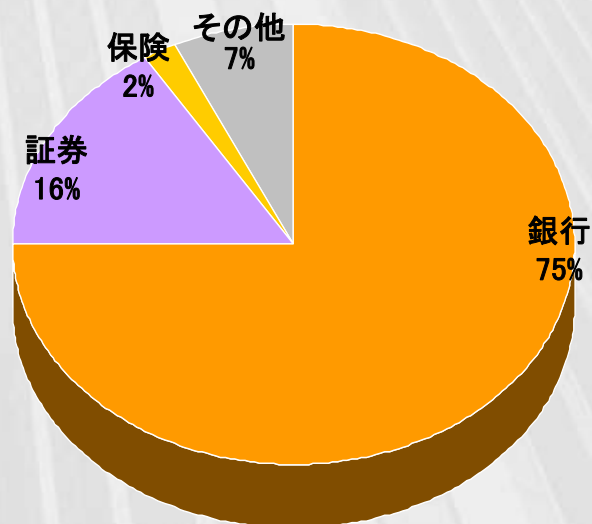
(億円)

サービス／業種	2011/3期 (実績) A	2012/3期 (実績) B	対前年 差異 B-A	コメント
業務ソリューション	740	742	+2	—
産業・流通・サービス	359	376	+17	ネット系等増
金融	229	225	-4	一部銀行向減
社会公共他	152	141	-11	中央省庁向減
基盤ソリューション	161	173	+12	クラウド関係増
ビジネスサービス	521	530	+9	テレコム向増 鉄鋼向減
子会社等	175	171	-4	独自案件減
合計	1,597	1,616	+19	—
受注高	1,620	1,694	+74	—

産業・流通・サービス

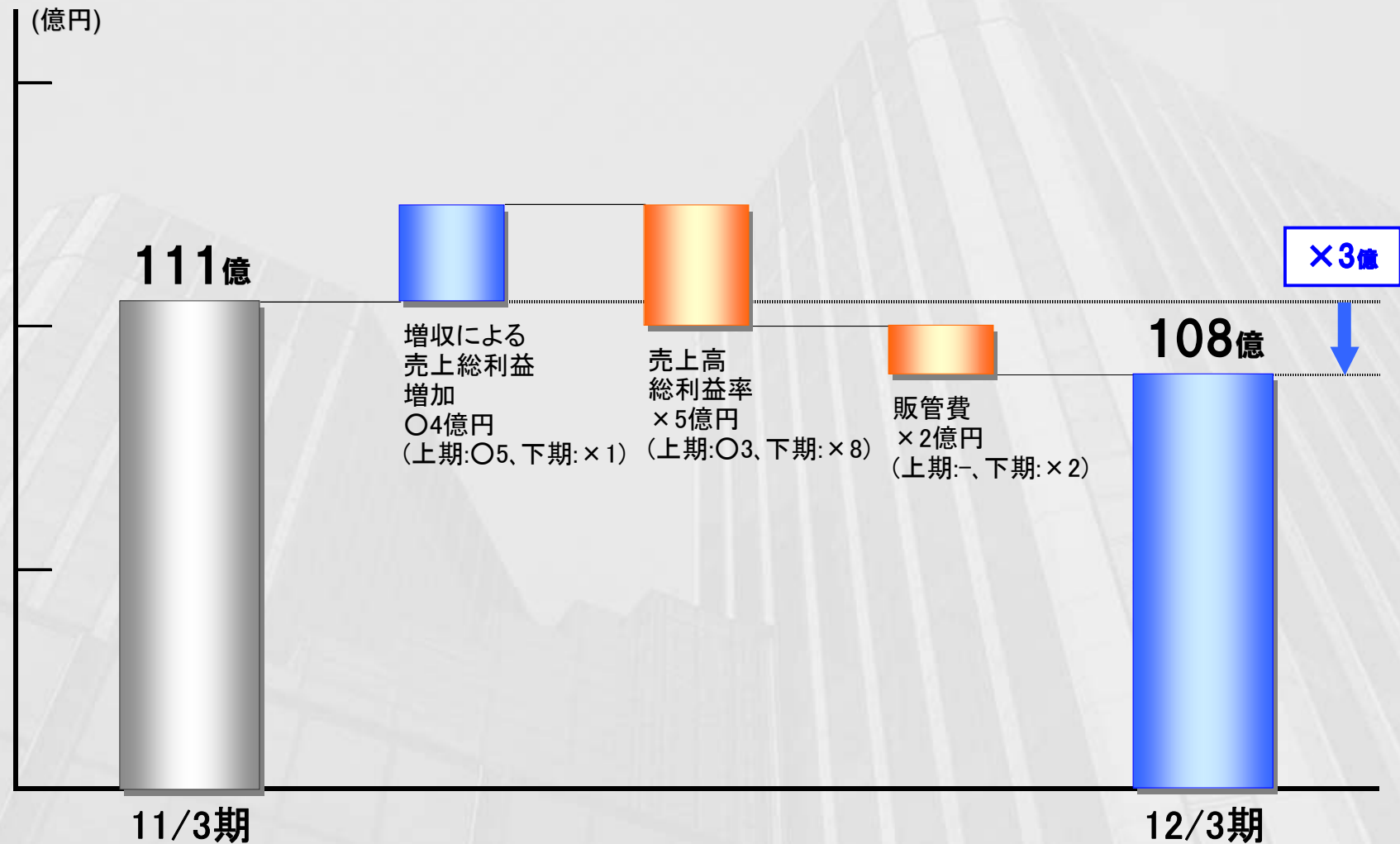


金融



2012年3月期 連結営業利益分析

対前年






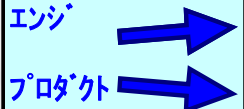

2013年3月期 連結業績見通し

(億円)

	2012/3期 (実績) A	2013/3期 (見通し) B	対前年 差異 B-A
売上高	1,616	1,700	+84
業務ソリューション	887	945	+58
基盤ソリューション	195	200	+5
ビジネスサービス	534	555	+21
売上総利益	308	326	+18
<売上高総利益率>	<19.0%>	<19.2%>	<+0.2%>
販管費	200	204	+4
営業利益	108	122	+14
経常利益	111	125	+14
当期純利益	52	73	+21

サービス・顧客業種別の市場認識



サービス・顧客業種	市場認識	市場動向
業務ソリューション		
産業、流通・サービス	電機・精密を中心に業績大幅悪化により投資縮減となる中、グローバル化対応、ネット系、CPG・医薬等のシェア拡大等のためのIT投資は活発。	
金融	メガバンクでは戦略的投資の継続が見込まれる。地銀・証券は厳しい状況が継続。	
公共	IT予算は一部復興関係の動きあるも全体としては削減基調。大型リプレイス案件が見込まれるが、ベンダー間の受注競争はさらに激化。	
基盤ソリューション	プロダクト販売はベンダー間の厳しい価格競争が継続。構築、運用、データセンタートータルでのアウトソーシングの需要は拡大。	
ビジネスサービス	鉄鋼関連は統合を控え堅調。テレコムは高水準で推移。新データセンターの引合い好調。	

2013年3月期 サービス・顧客業種別の売上高見通し



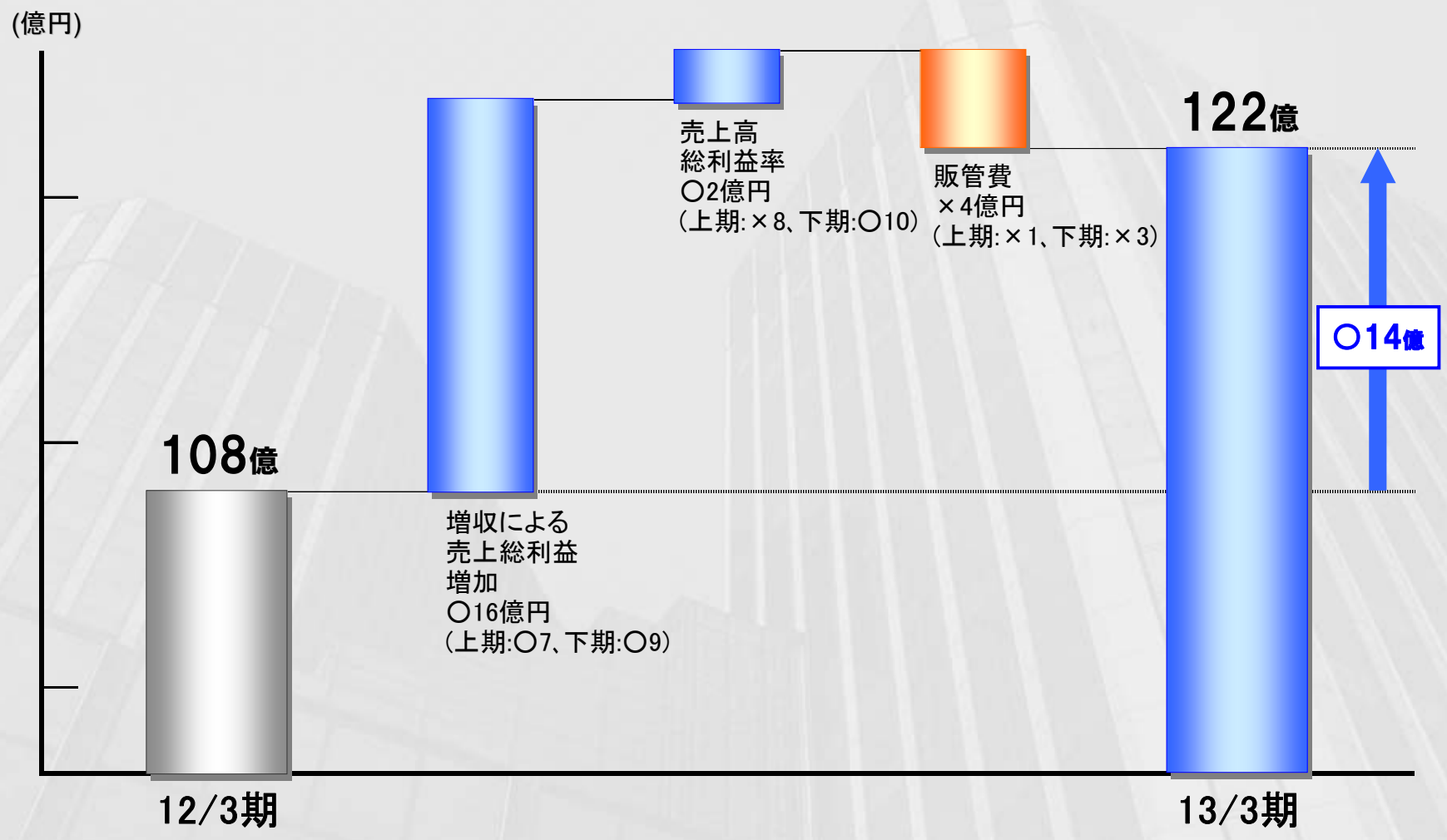
NS Solutions

(億円)

サービス／業種	2012/3期 (実績) A	2013/3期 (見通し) B	対前年 差異 B-A	コメント
業務ソリューション	742	800	+58	—
産業・流通・サービス	376	405	+29	自動車関連、機械増
金融	225	230	+5	メガバンク案件増
社会公共他	141	165	+24	中央省庁案件増
基盤ソリューション	173	180	+7	クラウド関連増
ビジネスサービス	530	550	+20	鉄鋼増 データセンター増
子会社等	171	170	-1	—
合計	1,616	1,700	+84	—

2013年3月期 連結営業利益分析

対前年



2013年3月期 上下別連結業績見通し



NS Solutions

(億円)

	2012/3期			2013/3期			対前年		
	上期 (実績)	下期 (実績)	年度 (実績)	上期 (見通し)	下期 (見通し)	年度 (見通し)	上期 差異	下期 差異	年度 差異
	A	B	C	D	E	F	D-A	E-B	F-C
売上高	762	854	1,616	800	900	1,700	+38	+46	+84
業務ソリューション	402	485	887	425	520	945	+23	+35	+58
基盤ソリューション	97	98	195	95	105	200	-2	+7	+5
ビジネスサービス	263	271	534	280	275	555	+17	+4	+21
売上総利益	151	157	308	150	176	326	-1	+19	+18
<売上高総利益率>	<19.8%>	<18.4%>	<19.0%>	<18.8%>	<19.6%>	<19.2%>	<-1.0%>	<+1.2%>	<+0.2%>
販管費	101	99	200	102	102	204	+1	+3	+4
営業利益	50	58	108	48	74	122	-2	+16	+14
経常利益	52	59	111	50	75	125	-2	+16	+14
当期純利益	27	25	52	28	45	73	+1	+20	+21
期首受注残	610	656	-	688	-	-	+78	-	-

2012年3月期の主要施策の進捗状況



復興支援と電力制約対策	<ul style="list-style-type: none">・Web会議システムnice to meet you@absonneの無償提供(岩手県沿岸市町村復興期成同盟会(20拠点)等)・BCP対応(データセンター、クラウド対応)
事業構造改革の推進	<ul style="list-style-type: none">・受注・売上トップラインの維持向上(プロジェクト・メイキング力の強化)・競争力・収益力の強化(プロジェクト・ビルディング力の強化)
クラウド・サービス事業の総合的展開	<ul style="list-style-type: none">・次世代型第5データセンター(耐震性能と環境性能で最高ランク取得)・サービスメニューの拡充、運用サービス強化、社内開発環境クラウド化推進・クラウド+(プラス)とBigDataソリューション推進
アジア拠点化の検討・推進	<ul style="list-style-type: none">・NS Solutions Asia Pacific(シンガポール)設立、社内組織「東南アジア事業推進班」設置により、新日鉄軟件(上海)を核とした中国事業と併せ、アジアでのビジネスを拡大
システム統合への取り組み	<ul style="list-style-type: none">・新日鉄/住友金属経営統合準備に係るシステム課題への取り組み
戦力構造の高度化	<ul style="list-style-type: none">・10年後も「技術のNSSOL」を堅持・向上するための高度IT人材育成施策強化

トップラインの拡大

- 成長事業分野へのリソース投入
- アカウント戦略の強化
- 生産性の向上

クラウド・サービス事業の総合的展開

- 第5データセンター サービス開始(5月1日)
- 第5データセンターと次期absonne活用による大型包括アウトソーシングの推進
- SaaSメニューの拡充とエンジニアリングビジネスと連携した総合的展開

成長領域への展開

- スマートデバイスソリューションの推進
- データサイエンス・BigDataの展開
- 東南アジア事業拠点の拡充
- NS Solutions USA ニューヨーク拠点の拡充

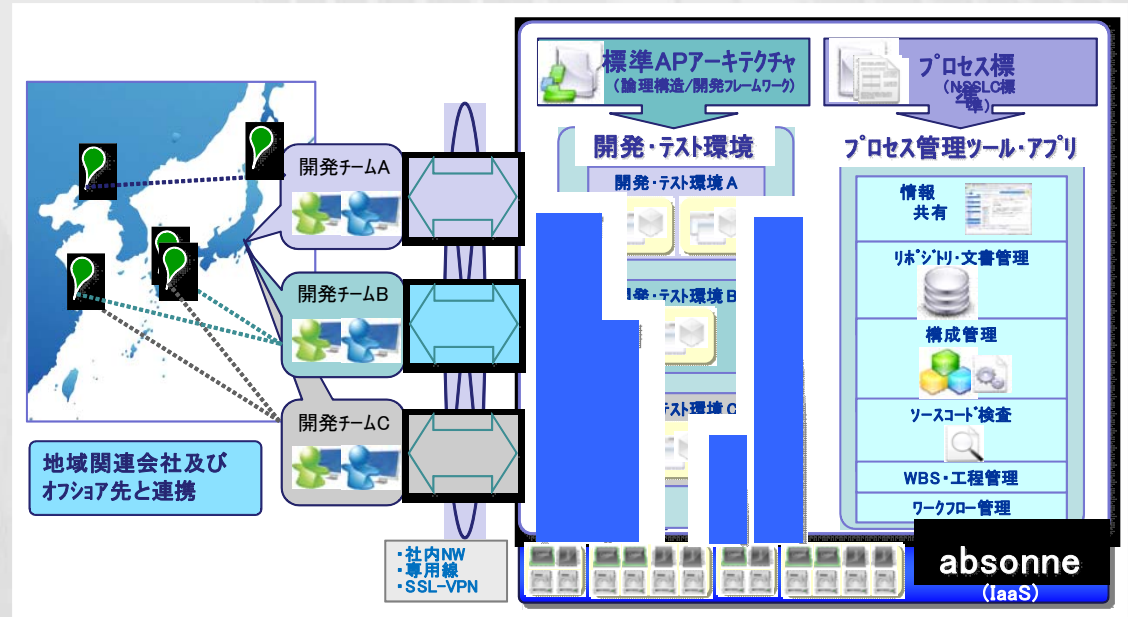
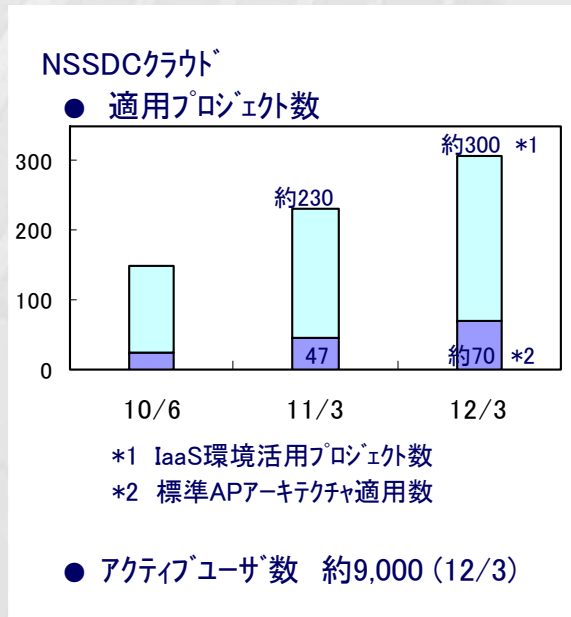
新日鉄・住友金属統合への取り組み

- 新日鉄/住友金属経営統合に係るシステム課題への取り組み
- 「新日鉄住金ソリューションズ株式会社」への商号変更、統合新会社のシステムソリューション事業の中核会社としての事業成長

戦力構造の高度化

- 高度IT人材育成のための人材育成フレームワークの策定
- グローバル人材育成の強化

- 成長事業分野(テレコム、ネット・リアル融合、クラウド・サービス等)へのリソース投入
- アカウント・ソリューションマトリックスの積極活用によるアカウント戦略の強化
- 生産性の向上
 - NSSDCクラウド適用拡大
 - 本体・子会社連携強化、直外比向上、オフショア拡大



第5データセンター サービス開始 (5月1日)



- ・ 免震3階建
1,300ラック
- ・ 高規格、高密度、省エネ
次世代型データセンター
- ・ 東京都三鷹市

次世代型第5データセンターの特徴

通常作業時のポイント

震災時のポイント

高密度

電力供給 標準 6KVA/ラック
【Max10~20KVA/ラックに対応可能】

高耐震性

PML 0.2% *
【国内最高レベル】

省電力

PUE値 1.4以下【国内最高レベル】
CASBEE** Sランク

自家発電

自家発電 72時間連続稼働
【Tier4レベル】

高荷重

床耐荷重 2000kg/m²
【Tier4を超える国内最高レベル】

冷却

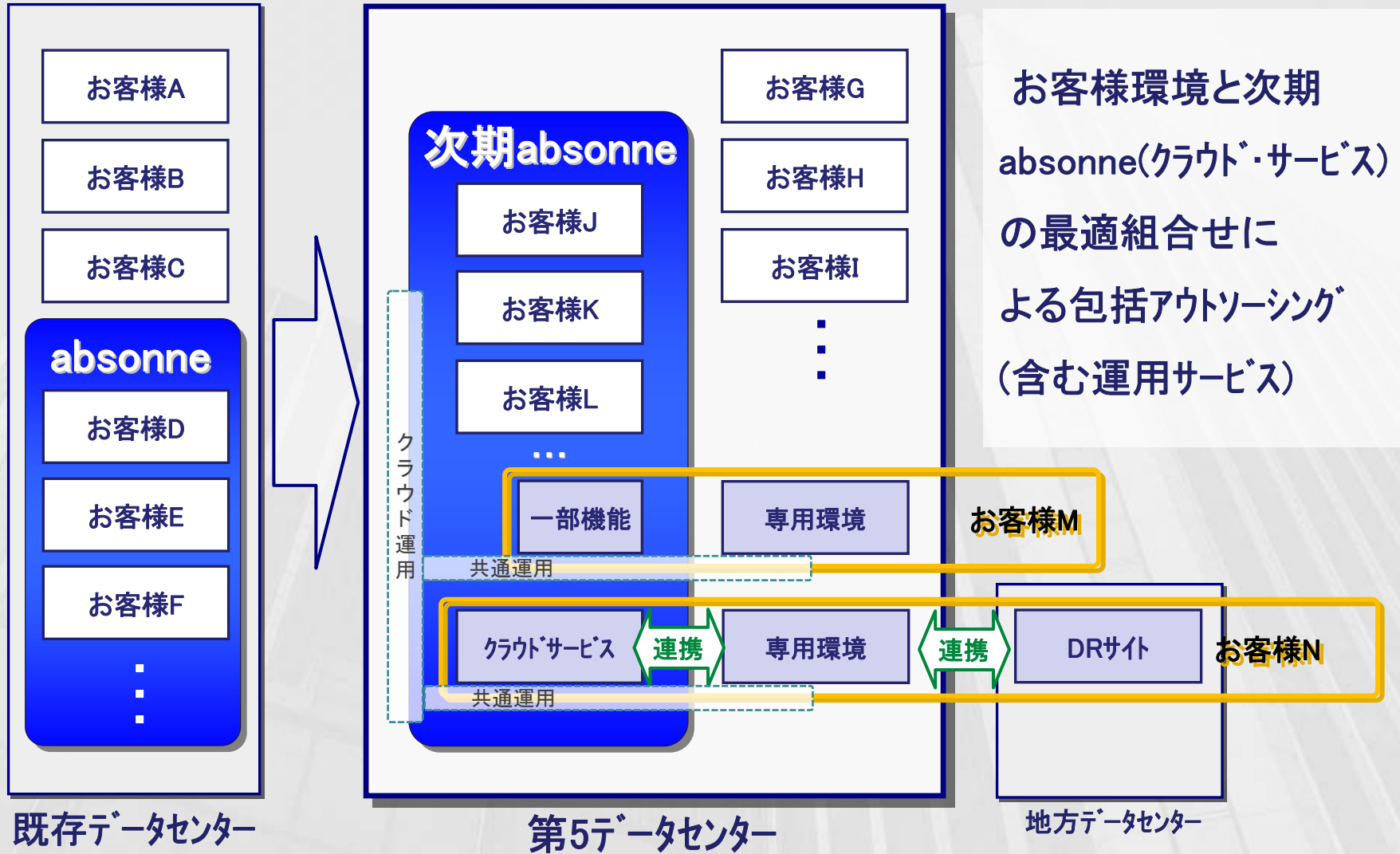
無停止冷却
(地下水槽ピットの冷水利用)

7段階の万全のセキュリティシステム

*PML(Probable Maximum Loss: 予想最大損失)

**CASBEE(Comprehensive Assessment System for Built Environment
Efficiency: 建築物総合環境性能評価システム)

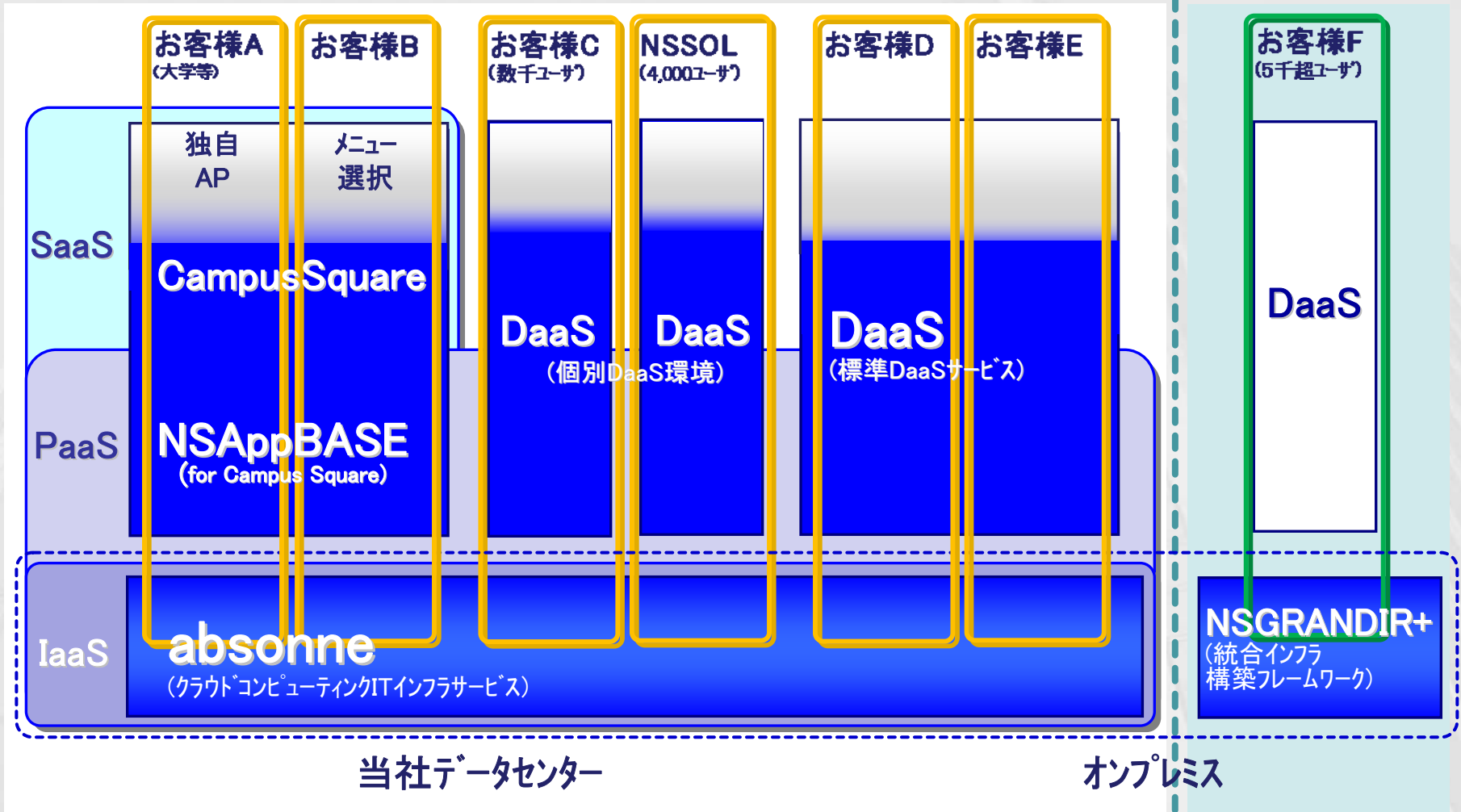
第5データセンターと次期absonne活用による 大型包括アウトソーシングの推進



SaaSメニューの拡充と エンジニアリングビジネスと連携した総合的展開

<サービスモデル>

<エンジニアリングモデル>



※1 NSGRANDIR: NS Solutions Grid And Dynamic Infrastructure

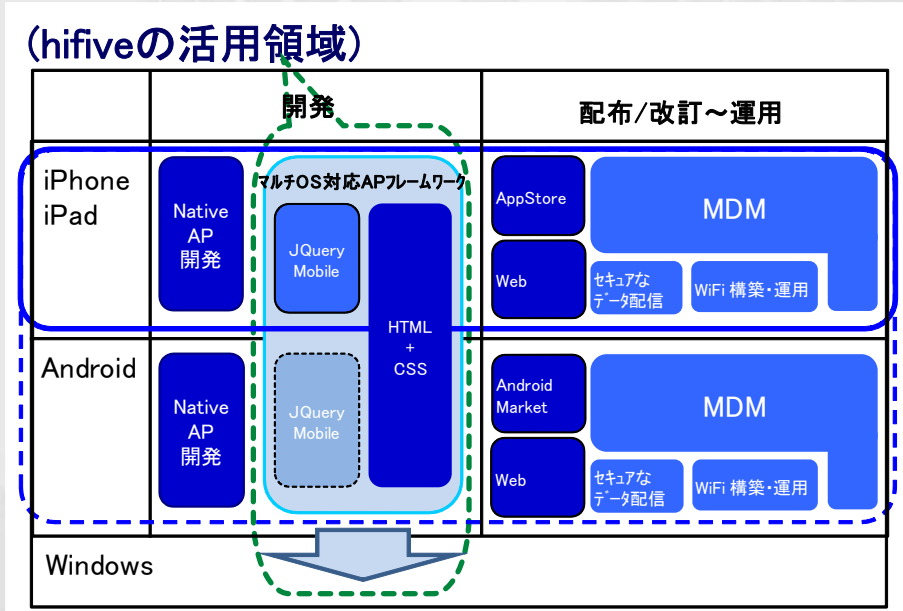
※2 absonne/アブソノン: advanced business space on network

※3 DaaS: Desktop as a Service ※4 Campus Square: 大学学事業務システム

成長領域:スマートデバイスソリューションの推進

スマートデバイスがクラウドと連携することで、ワークスタイルや企業情報システムが変革するものとして注目、早くからシステム研究開発センターで研究活動推進。

- ・ MDM(モバイル・デバイス・マネジメント)ソリューション 提供開始(2011年10月)
- ・ hifive(ハイファイブ:HTML5対応のマルチOS向け端末アプリケーション開発フレームワーク)をOSS(オープンソースソフトウェア)として提供開始



- ・ スマートデバイスソリューションに関する専任事業組織スマートデバイスソリューションセンターを設置(2012年4月1日)

データサイエンス&テクノロジーセンター(2011年6月設置): 分析からシステム構築まで一貫したサービスを提供

モデリング

- ・お客様のマーケティング戦略と密接に連携したモデリング、データ分析、解析領域でのコンサルテーション

最適化 統計解析

- ・先端アプリケーション(ナレッジ・最適化等)に関する技術
- ・大規模DWHシステム、BIツール・統計解析ツール技術

DWH / BI BigData

- ・BigData対応技術(Hadoop、KVS、ストリームコンピューティング)
- ・各種アプライアンス製品の適用、クラウド技術の適用

通販/ネット販売

- ・顧客行動データに基づき、セグメンテーションやプロモーション(顧客戦略の高度化)

テレコム

- ・通信やログデータに基づき、解約防止の顧客戦略や障害事前検知のサービス品質向上

製造

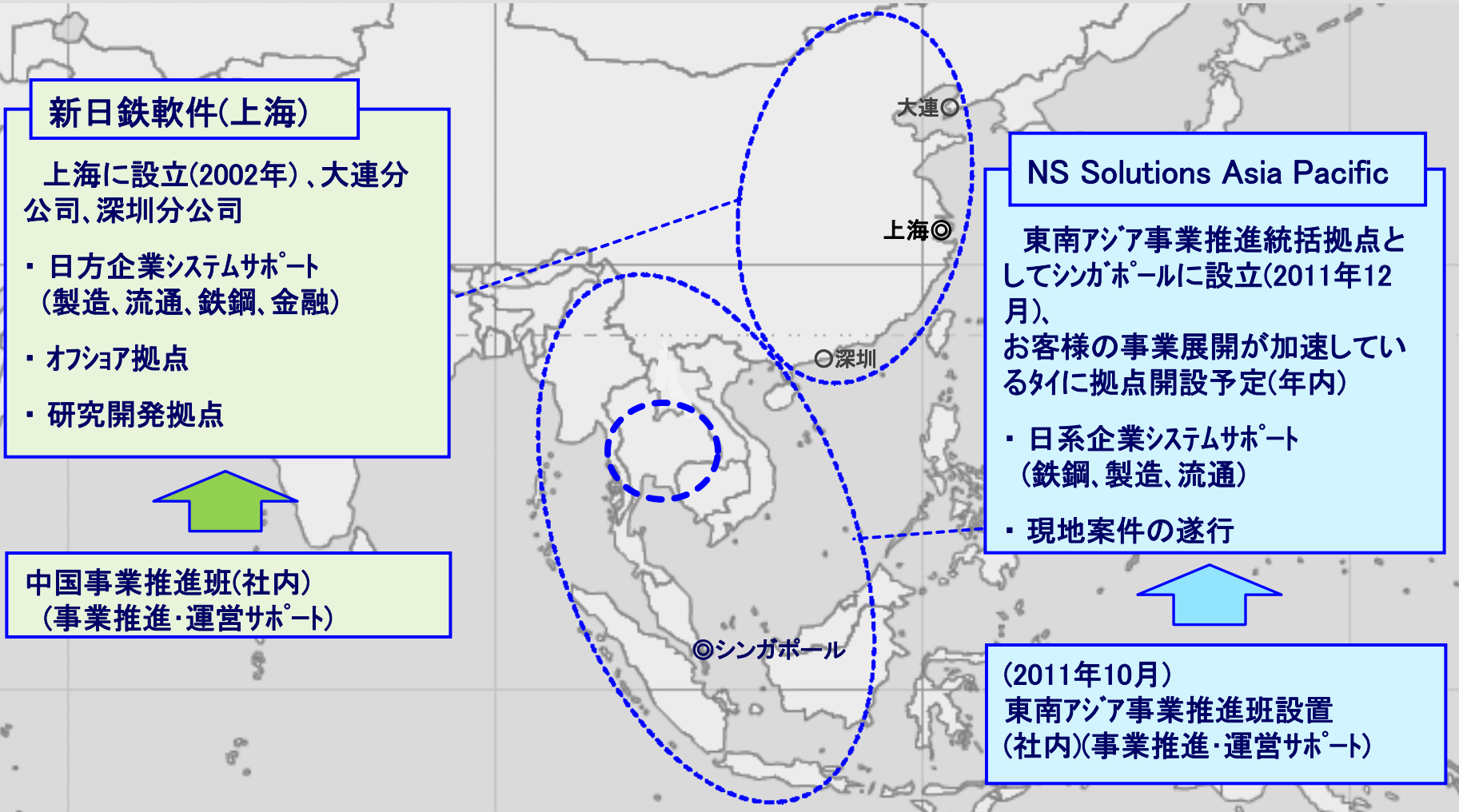
- ・販売動向や品質情報のデータ解析・因子特定に基づく、生産プロセス最適化への応用

社会・公共

- ・大量データの統計処理とデータ・テキストマイニング

FEG社(株)金融エンジニアリング・グループ)のデータモデリング技術の活用

成長領域: 東南アジア事業拠点の拡充



下期以降主要プレスリリース



NS Solutions

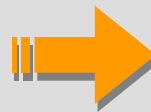
- 10月6日 企業向けスマートフォン・システムのライフサイクル・ソリューションを確立・提供
～複数のデバイス規格に対応したスマートフォン開発・運用のコストを半減～
- 10月28日 西日本シティ銀行殿の協力によりインターネット為替予約サービスCrossMeetz
を提供開始
- 12月5日 実績ある大学学事業務システムCampusSquareをクラウド化、NSAppBASE for
CampusSquare Liteとして提供開始
- 12月7日 世界最高速最適化ソルバーGurobi Optimizerを基盤にした最適化ソリューション
を提供開始
- 12月8日 シンガポールに現地法人を設立
- 12月15日 ケイ・オプティコム殿の統合データベース基盤を刷新
- 3月23日 宮崎銀行殿、外為総合インターネットサービスCrossMeetzを導入
- 4月11日 専任事業組織スマートデバイスソリューションセンターを設置しスマートデバイスソリューション
を強化、HTML5に準拠した開発フレームワーク hifiveをOSSとして公開
- 4月20日 第5データセンターが5月1日に開業
～クラウド事業の中核拠点が稼働、夏には次期absonneがサービス開始予定～
- 4月26日 米国Cloudera社と提携
～Apache HadoopディストリビューションCloudera Enterpriseの国内販売を開始
- 4月27日 新日鉄住金ソリューションズ株式会社への商号変更のお知らせ

- ◇安定配当と将来の事業拡大等に備えた内部留保の確保
- ◇株主への利益還元



1株当たり年間配当金の計画

2012年3月期
40.00円



2013年3月期
40.00円

本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。



<http://www.ns-sol.co.jp/>

NS Solutions, NSSOL, NSロゴは、新日鉄ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。